

Mr.Bike ミスター・バイク

2006
1

拝啓ヤマハ様
僕達はこんなVMAXが
欲しいんです!

現地試乗
2連発

YAMAHA

YZF-R6 &
Road liner

ハーレー
カスタム
たっぷり満喫 Cool
Breaker
2005

お腹にプレゼントつめこんで
DBサンタ隊が行く

本場でどっぷり満喫

X-Party
in U.S.A.

パーティーはあと2回続くなよ

特別
付録

2006
CBカレンダー

平成18年1月10日発行(毎月1日10日発行)
昭和51年6月11日第三種郵便認可 第31巻 第1号

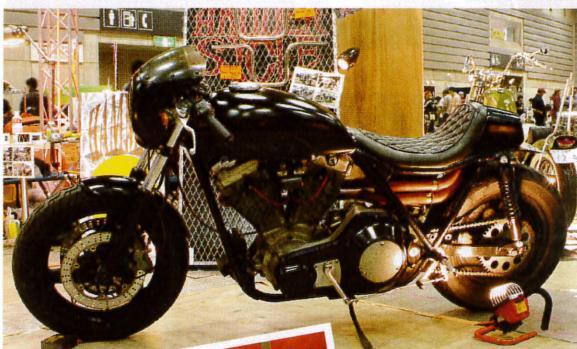
TRYJA

↓見事なアメリカ西海岸系のハイテック・ネオチョッパーへと仕上げられた一台。車体を覆うフレイムパターンもさることながら、フレームとフォーク長、タンクなどのバランスも完璧だ。今年出展されていたロングフォーク系カスタムの中ではトップクラスの出来映えだったといえる。



FUJISHIMA

↑ストリート・ホットロッドテイストを全面に出しながらも、それだけで終わっていないスタイルがナイス。フロントの縦2連デュアルヘッドライトを装備したカウルなど、オリジナリティ溢れる造形が各所に見られる。複雑なペイントワークも美しいのひと言だ。



GIRL'S SHOT!

HAMMER SYCLE

↑ハーレーのFXRをベースにしたコイツは、荒々しさを持ったストリート・ホットロッド仕様。エキゾーストパイプをシート下に取り回すなど、独自のアレンジが随所に施されている。まだ新しいショップだが、今後の展開が非常に楽しみなのだ。



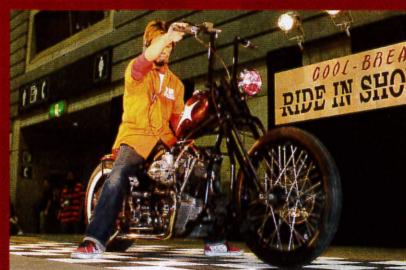
BAD LAND

↑ヨーロッパの高品質なカスタムパーツを広めるべく活動するバッドランドでは、まだ未完成ながら強烈なスタイルのカスタムが展示。このフレームの高さはハンパじゃないが、それ以前にこのバイクが完成した時、普通の体格の日本人が乗れるのか?



ライドイン・ショードって 大盛り上がりだったのだ!

今回のクールブレイカーで初めて行われたのが「ライドインショード」ステージに一台ずつバイクが（自走して！）登場し、観客の投票を行うものなのだが、この投票方式が凝っていて、よくテレビであるように、客席にそれぞれ設置されたスイッチを押すことによって、トータルの点数が電光表示板に出るという仕組み。ステージに上がった各出展者はそれぞれ独自のパフォーマンスで客を沸かせるなどしてポイントを稼いでいた。



ステージ上ではアクセルを吹かしまくったり、それでもダメなら自分自身でアピールする人たちが続出。その盛り上がり度に応じて点数も上がっていって面白かったのだが、ステージに上がった人にとっては自分のバイクがジャッジされるとあって、かなりのドキドキものだったハズだ。んで総合順位は初日と2日目のトータル点数で決められたのだが、最終結果はホットドックの新ブランド、ナイトイエーガーのマシン（P13参照）が見事トップに輝いた。